

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

**警告**

- 本製品は、公園など公共施設敷地内通路の歩行補助を目的にP種相当の強度を備えた歩行補助手すりです。
- 本製品は転落防止柵ではありません。断崖地など路外が危険な場所には設置しないでください。
- 建物内の階段手すり・ベランダ手すりとしては使用しないでください。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

**注意**

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 水抜き穴がG.L.以下にならないように注意して施工してください。

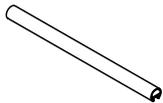
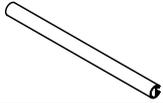
<基礎工事について>

⚠ 注意

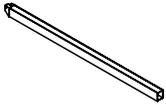
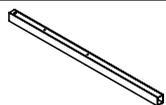
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。
- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水が溜まらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。

■梱包明細表

【1】ビームセット

名 称	略 図	員 数		
		ビーム(2500)	端部ビーム(1250)	端部横棧(2475)
ビーム		1	—	—
端部ビーム		—	1	—
端部横棧		—	—	1
ビームスリーブ		1	—	1
ビームカバー		1	—	1
ビームキャップA (2400mm)		1	—	1
ビームキャップB (1250mm)		—	1	—
【1-1】 M6×12トラス小ネジ		4	—	4

【2】 柱セット

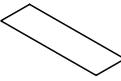
名 称	略 図	員 数				
		トップ1段	トップ2段	フロント1段	フロント2段	フロント1段(横棧付)
トップ1段柱		1	—	—	—	—
トップ2段柱		—	1	—	—	—
フロント1段柱		—	—	1	—	—
フロント2段柱		—	—	—	1	—
フロント1段(横棧付)柱		—	—	—	—	1
支柱キャップ		—	—	1	1	1

【3】 ブラケットセット

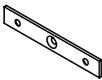
名 称	略 図	員 数	
		フロント ブラケット	ビーム ブラケット
フロントブラケット ※		1	—
ビームブラケット ※		1	1
ビームインナー		1	1
フロントブラケットキャップ		1	—
【3-1】 M8×25ナベ小ネジ		1	—
【3-2】 M8バネ座金		1	—
【3-3】 M6×16六角孔付ボタンボルト ※		1	1
【3-4】 M6バネ座金 ※		1	1
【3-5】 M6×16六角孔付サラボルト		2	2
【3-6】 M4×8ナベ小ネジ		1	—

※フロントブラケットセットは※を仮組みして梱包しています。

【4】 エンドキャップセット

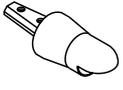
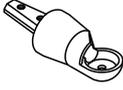
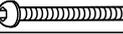
名 称	略 図	員 数	
		エンド キャップS	エンド キャップR
エンドキャップS		2	—
エンドキャップR		—	2
注意シール		1	1
【4-1】 M6×12トラス小ネジ		4	4
取付説明書	—	1	1

【5】 横棧部品セット

名 称	略 図	員 数
ビームインナー		2
横棧裏板		2
【5-1】 M6×10六角孔付サラボルト		6

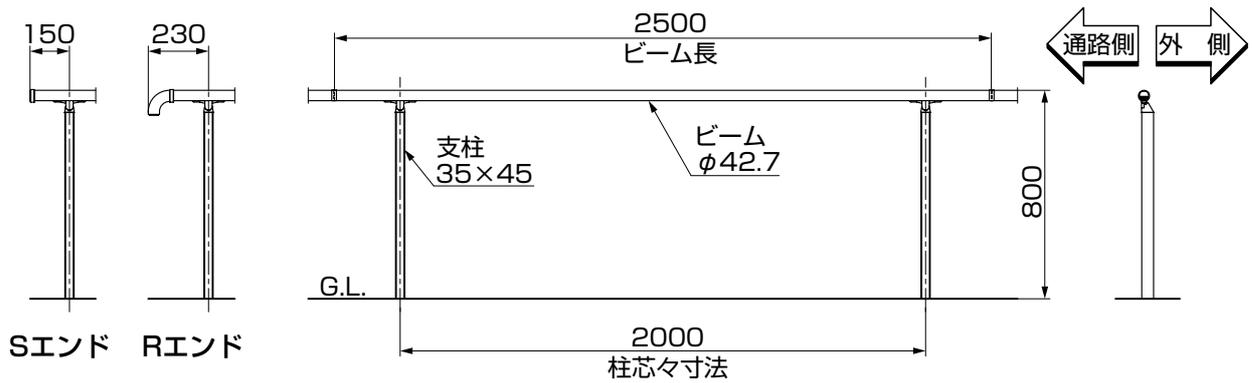
■ (つづき)

【6】 三次元コーナー継手セット

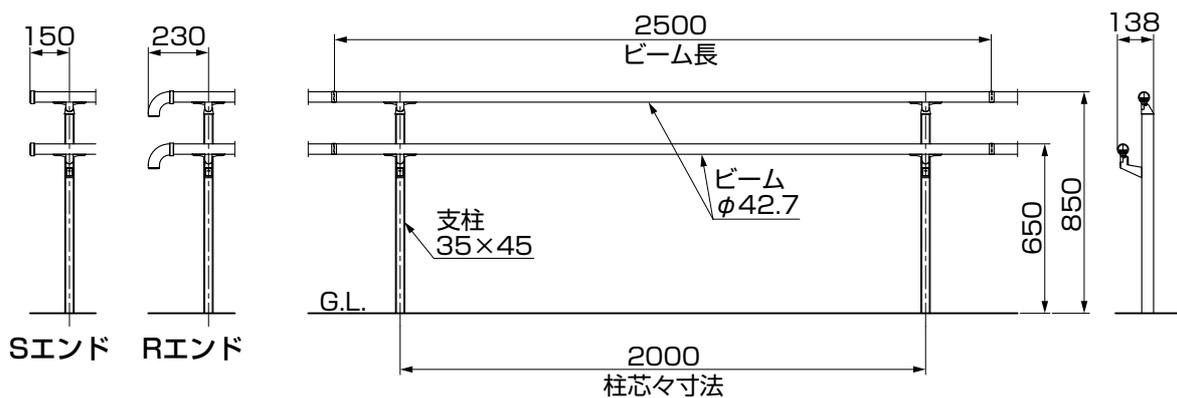
名 称	略 図	員 数
三次元コーナーブラケット上セット		1
三次元コーナーブラケット下セット		1
【6-1】 M8×30六角孔付ボタンボルト		1
【6-2】 M6×12トラス小ネジ		4
【6-3】 M8バネ座金		1

1. 基本寸法および各部名称

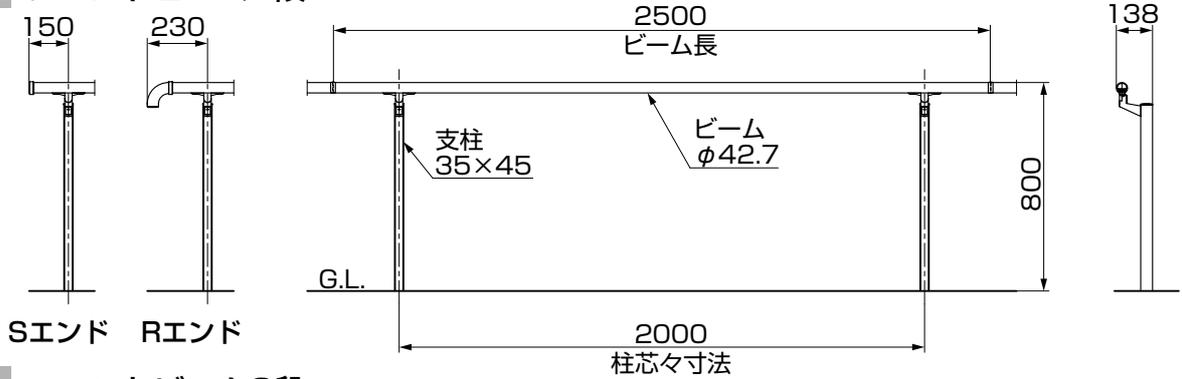
1-1 トップビーム1段



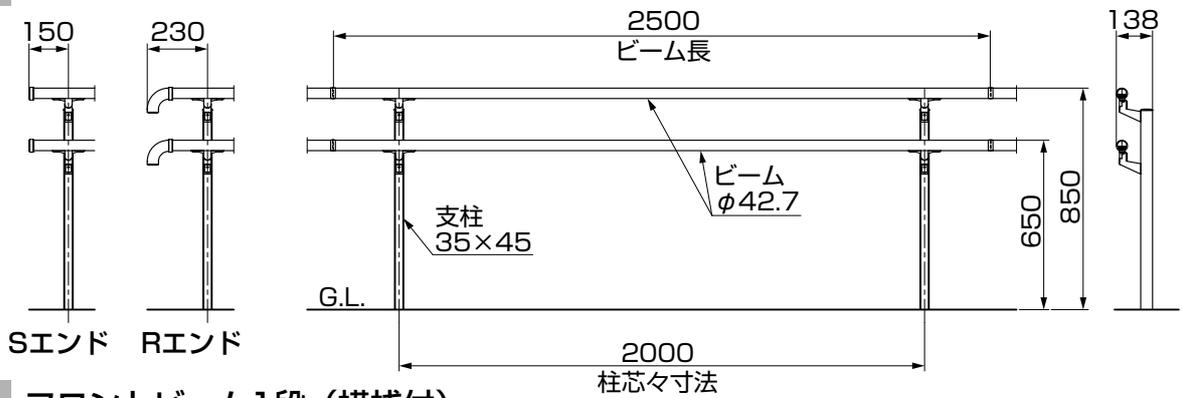
1-2 トップビーム2段



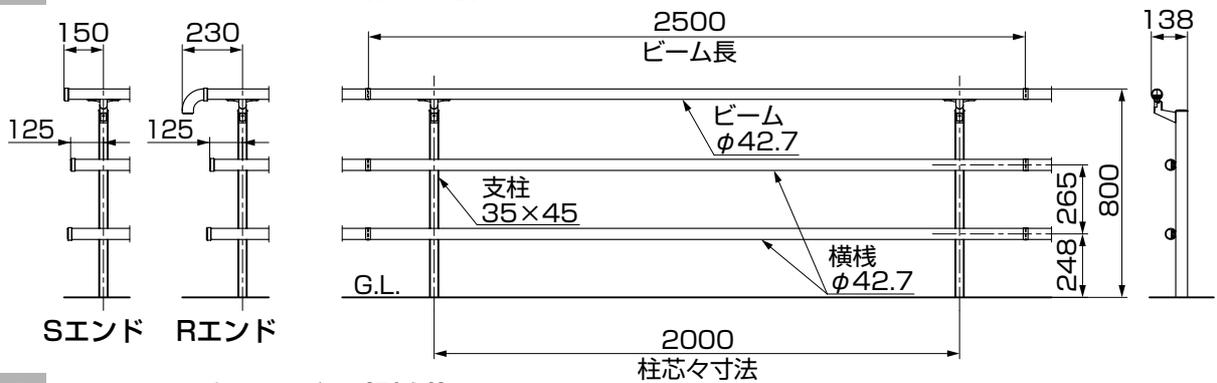
1-3 フロントビーム1段



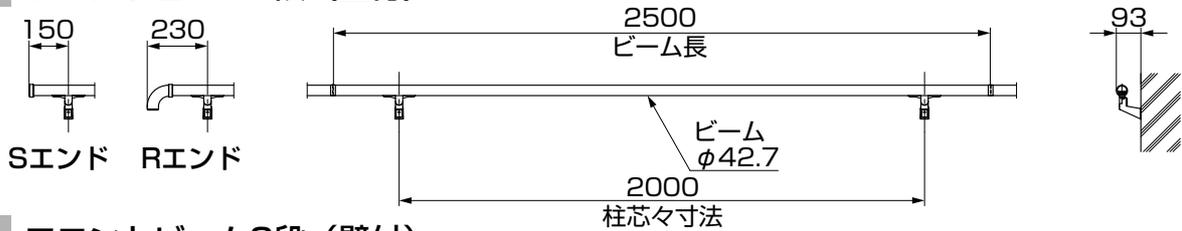
1-4 フロントビーム2段



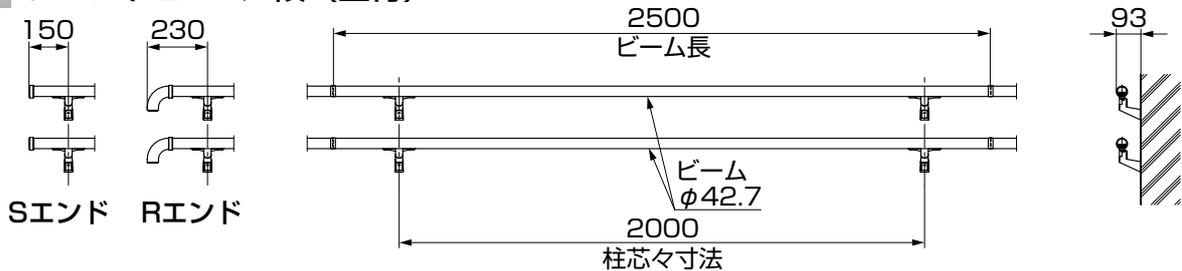
1-5 フロントビーム1段 (横棧付)



1-6 フロントビーム1段 (壁付)

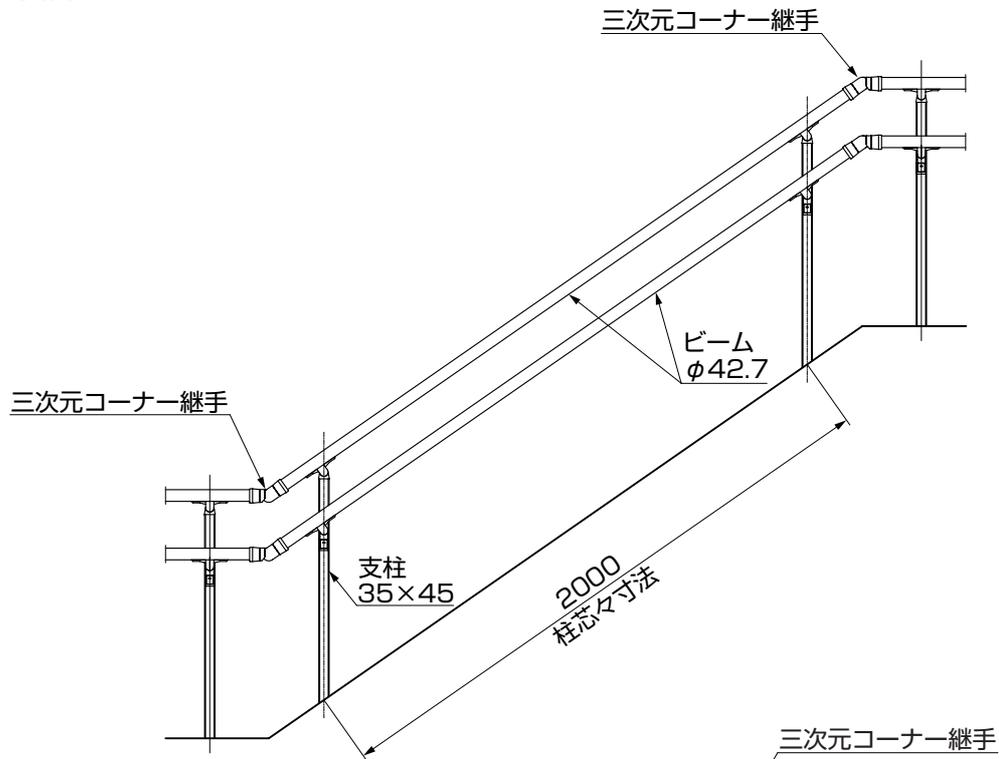


1-7 フロントビーム2段 (壁付)

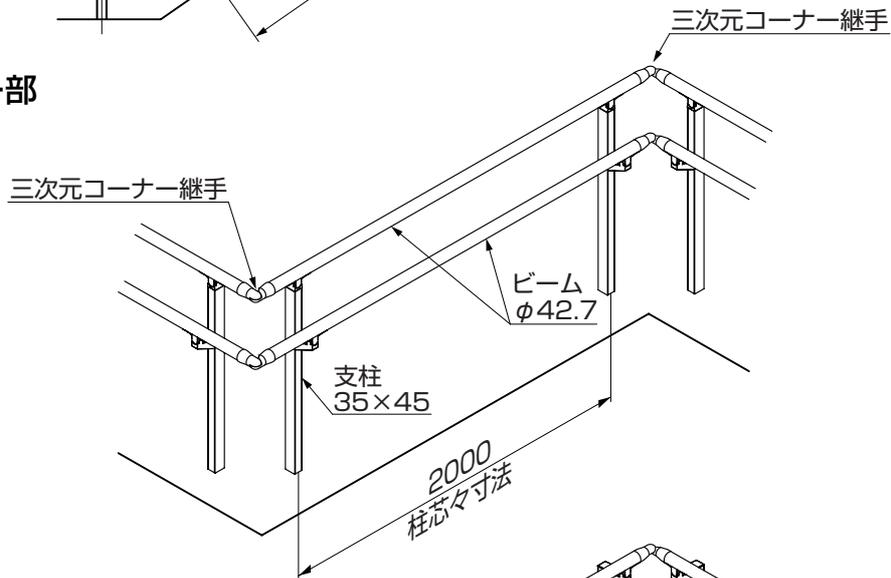


1. (つづき)

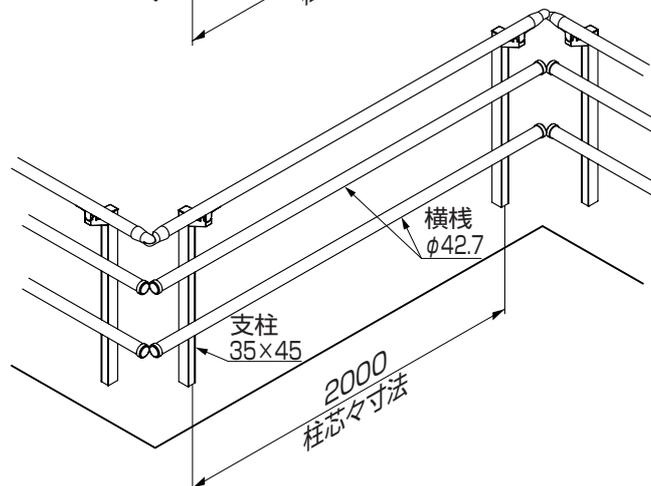
1-8 傾斜部



1-9 コーナー部

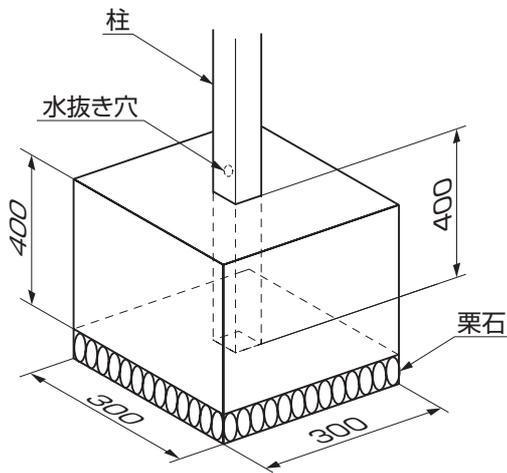


1-10 横棧コーナー部



2. 基本と柱の施工

2-1 独立基礎の施工



⚠ 注意

- 柱内に水がたまると、冬場は凍結して、破損し事故につながるおそれがあります。

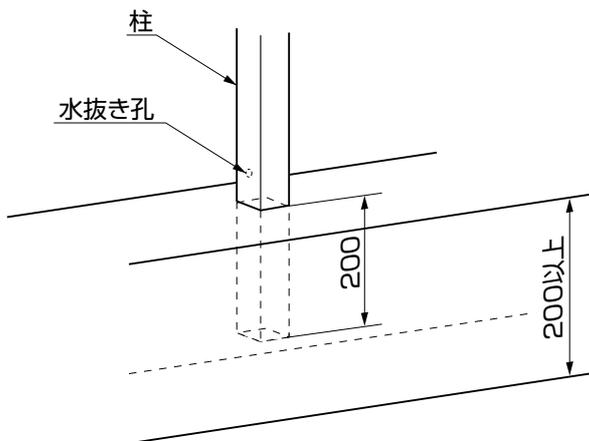
🔑 ポイント

- 水抜き穴をふさがないように施工してください。

✎ 補足

- 基礎は、長期地耐力度100KN/m²時の参考寸法です。

2-2 連続基礎の施工



⚠ 注意

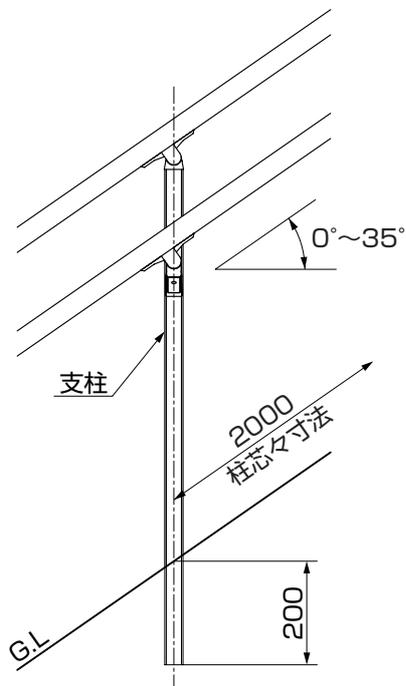
- コンクリート深さは200mm以上にしてください。
柱の埋め込みが200mm以下だとP種相当の強度が確保できなくなります。

🔑 ポイント

- 水抜き穴をふさがないように施工してください。

2. (つづき)

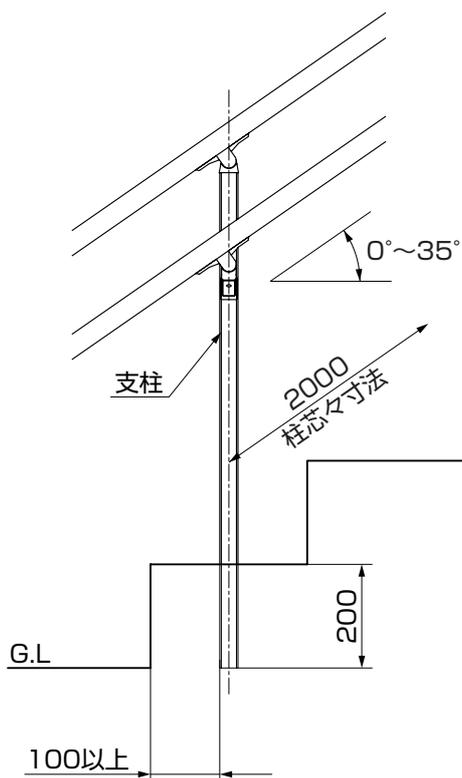
2-3 傾斜地の施工



⚠ 注意

- 柱ピッチは、2000mm以内で施工してください。この時、柱埋込み寸法は200mmにしてください。柱の埋め込みが200mm以下だとP種相当の強度が確保できなくなります。

2-4 階段地の施工



⚠ 注意

- 柱ピッチは、2000mm以内で施工してください。この時、柱埋込み寸法は200mmにしてください。柱の埋め込みが200mm以下だとP種相当の強度が確保できなくなります。

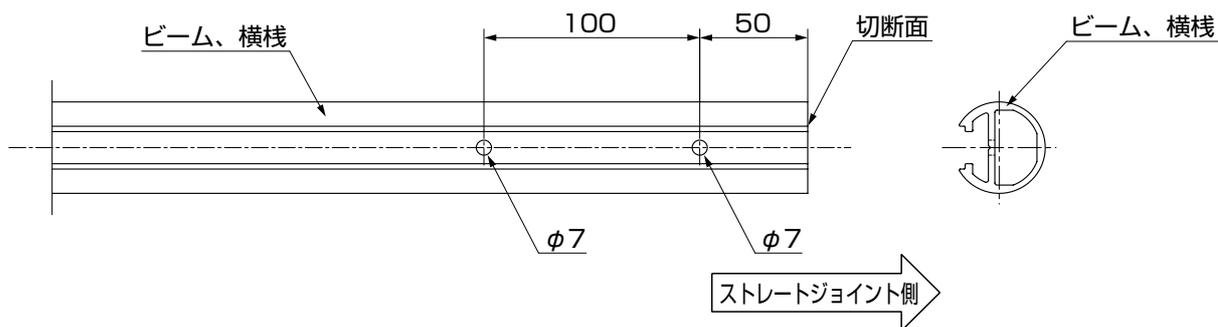
3. ビームの加工

※ビームの加工が必要な場合の作業です。

⚠ 注意

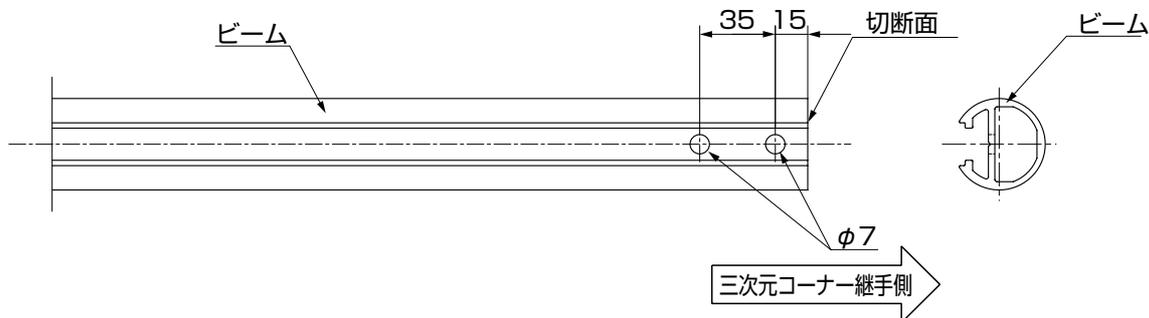
- 端部・孔加工部は、バリなどがでないように加工してください。バリが出た場合はヤスリ、サンドペーパー等で除去してください。バリを残すと、ケガをするおそれがあります。

3-1 ビーム、端部ビーム、横棧のストレートジョイント部の切詰め



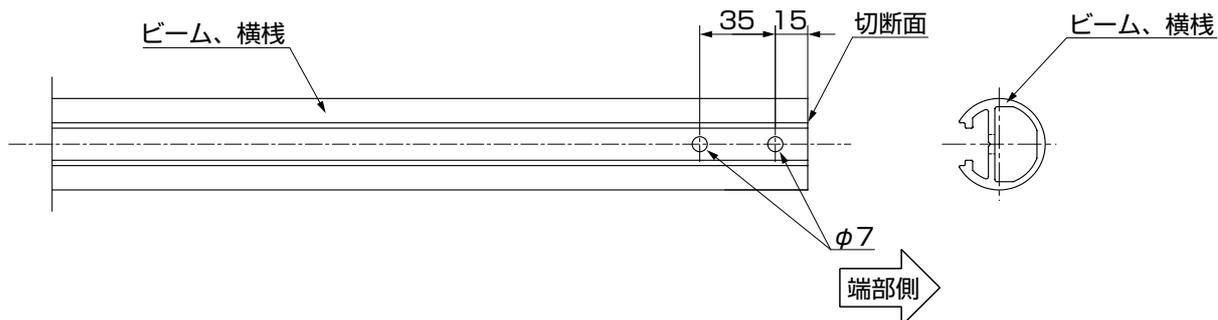
- ①ビーム、横棧を必要な長さに切詰めてください。
- ②切断面から図の寸法の位置に $\phi 7$ の孔加工をしてください。

3-2 ビーム、端部ビームの三次元コーナー継手部の切詰め



- ①ビームを必要な長さに切詰めてください。
- ②切断面から図の寸法の位置に $\phi 7$ の孔加工をしてください。

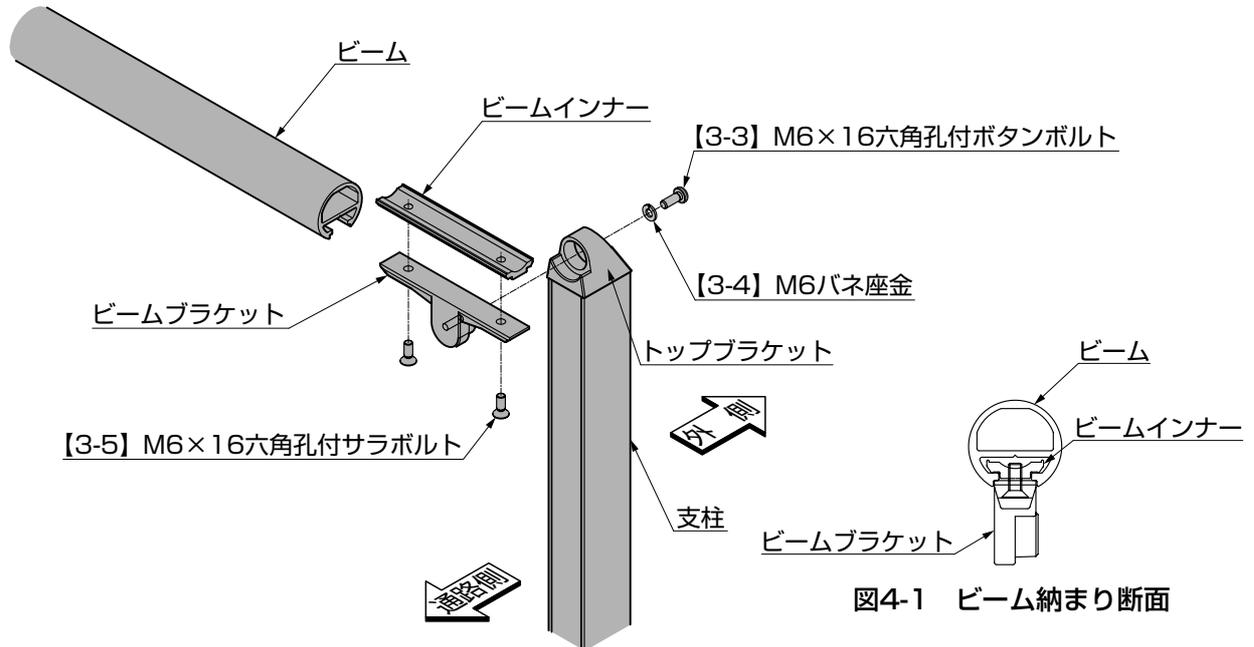
3-3 ビーム、端部ビーム、横棧の端部の切詰め



- ①ビーム、横棧を必要な長さに切詰めてください。
- ②切断面から図の寸法の位置に $\phi 7$ の孔加工をしてください。

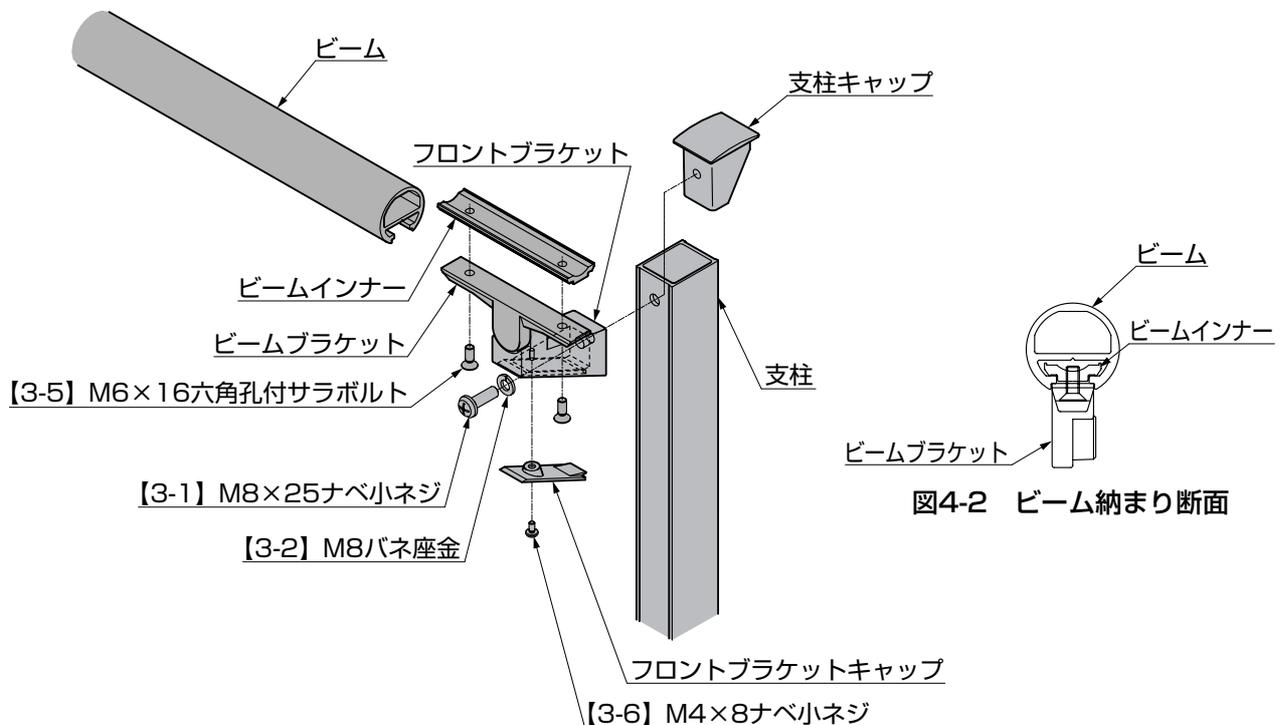
4. ビームの取付け

4-1 トップビーム



- ① トップブラケット部にビームブラケットを【3-3】、【3-4】で取付けてください。
- ② ビームブラケットにビームインナーを【3-5】で仮止めし、その隙間にビームを通し仮止めた【3-5】を締めてビームを固定してください。

4-2 フロントビーム



- ① 支柱キャップを支柱に差込み、仮組みしてあるビームブラケットとフロントブラケットを【3-1】、【3-2】で取付けてください。
- ② ビームブラケットにビームインナーを【3-5】で仮止めし、その隙間にビームを通し仮止めた【3-5】を締めてビームを固定してください。
- ③ フロントブラケットキャップを【3-6】で取付けてください。
- ④ ビームブラケットとフロントブラケットを仮組みしてあるネジを締め付けてください。

4-3 トップビームの2段目、フロントビームの2段目

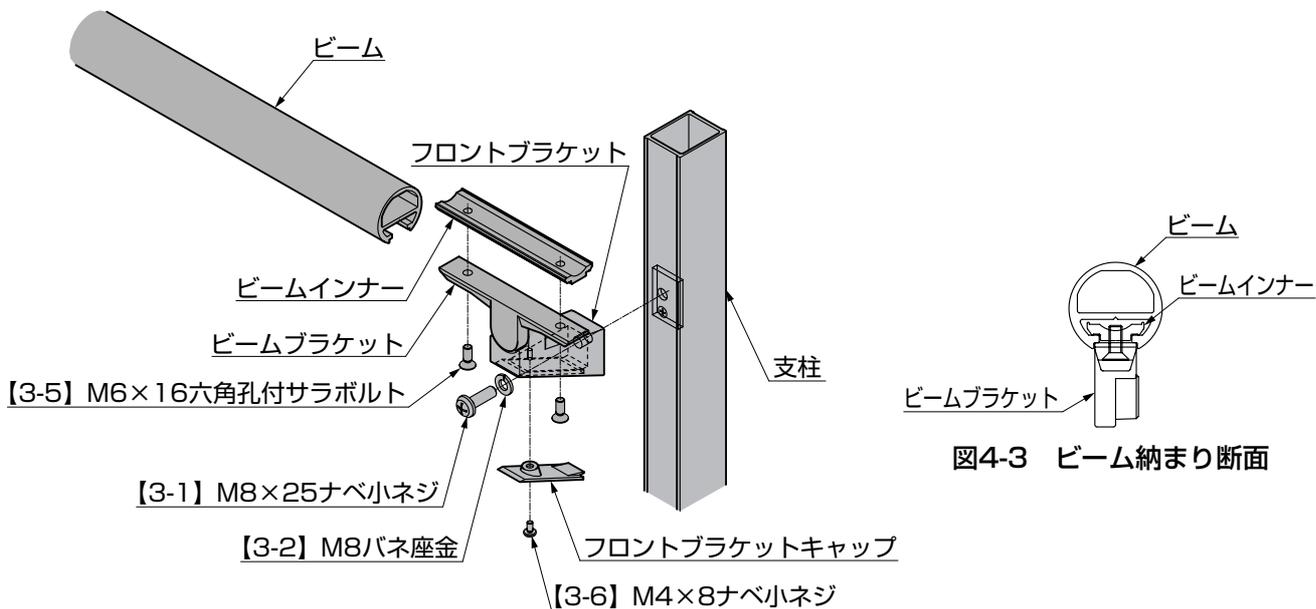


図4-3 ビーム納まり断面

- ① 仮組みしてあるビームブラケットとフロントブラケットを支柱に【3-1】、【3-2】で取付けてください。
- ② ビームブラケットにビームインナーを【3-5】で仮止めし、その隙間にビームを通し仮止めした【3-5】を締めてビームを固定してください。
- ③ フロントブラケットキャップを【3-6】で取付けてください。
- ④ ビームブラケットとフロントブラケットを仮組みしてあるネジを締め付けてください。

4-4 フロントビーム壁付け

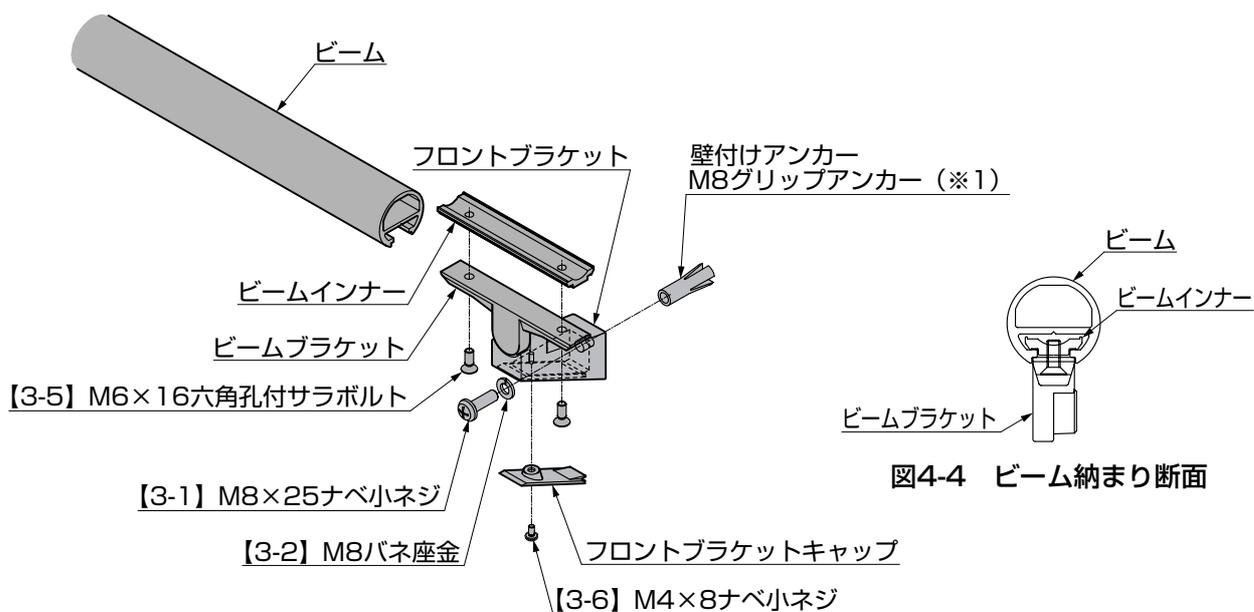
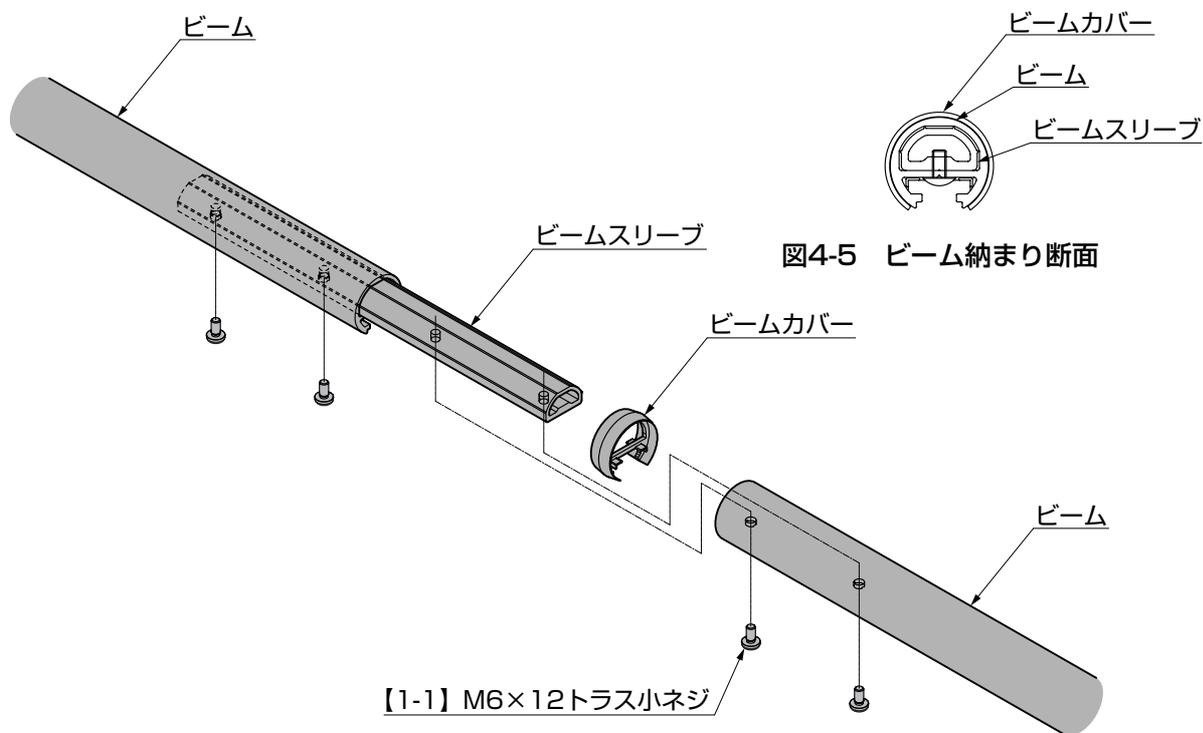


図4-4 ビーム納まり断面

- ① 仮組みしてあるビームブラケットとフロントブラケットを【3-1】、【3-2】と現場手配の「壁付けアンカー（※1）」で取付けてください。
- ② ビームブラケットにビームインナーを【3-5】で仮止めし、その隙間にビームを通し仮止めした【3-5】を締めてビームを固定してください。
- ③ フロントブラケットキャップを【3-6】で取付けてください。
- ④ ビームブラケットとフロントブラケットを仮組みしてあるネジを締め付けてください。

4. (つづき)

4-5 ストレートジョイント部



- ① 連結する片側のビームにビームスリーブを差込み【1-1】で取付けてください。
- ② ビームカバーを差込み、もう一方のビームを差込んで【1-1】で固定してください。

4-6 端部

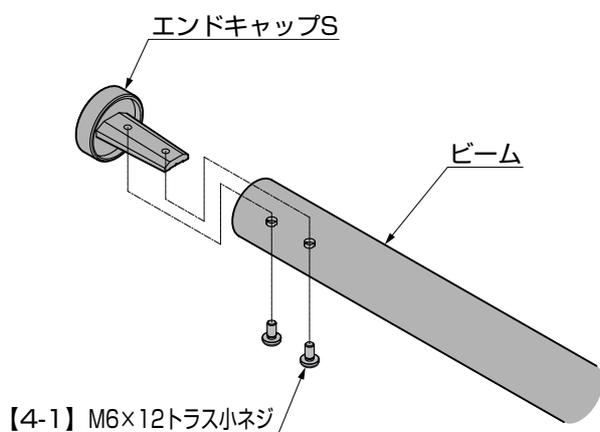


図4-6 エンドキャップS

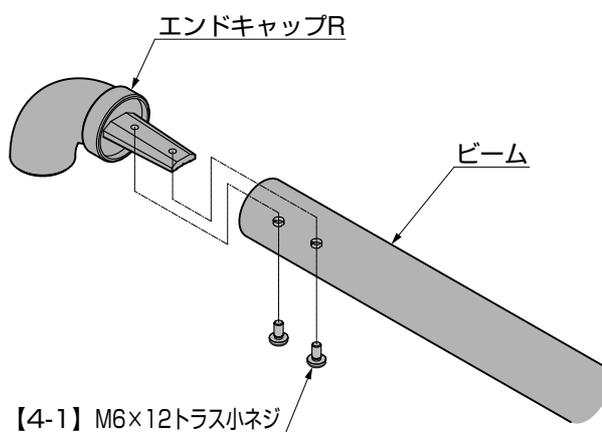


図4-7 エンドキャップR

- ① ビームの端部にエンドキャップSまたはエンドキャップRを差込み【4-1】で取付けてください。

5. 横棧の取付け

5-1 横棧

【5-1】 M6×10六角孔付サラボルト

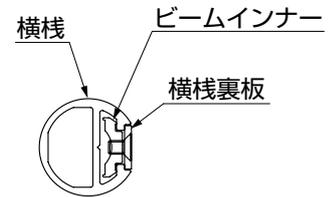
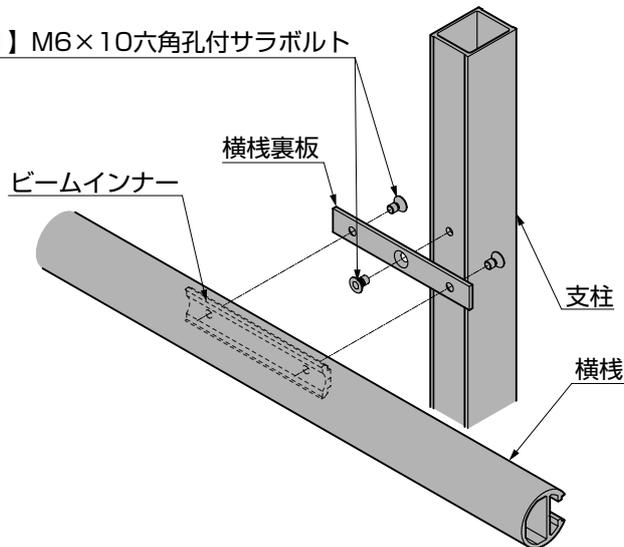


図5-1 横棧納まり断面

- ①支柱に横棧裏板を【5-1】で取付けてください。
- ②横棧にビームインナーを差し込み、横棧裏板に【5-1】で固定してください。

5-2 横棧連結部

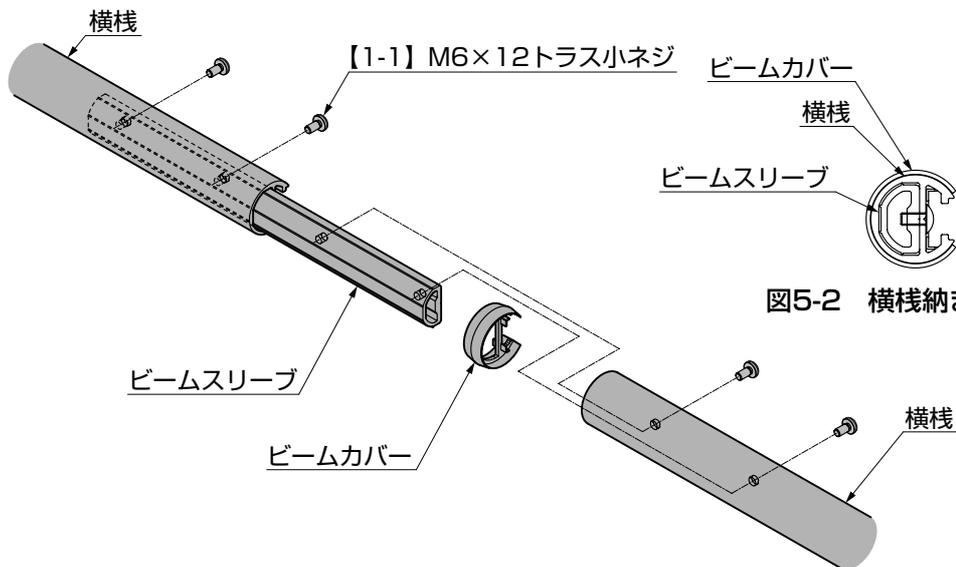
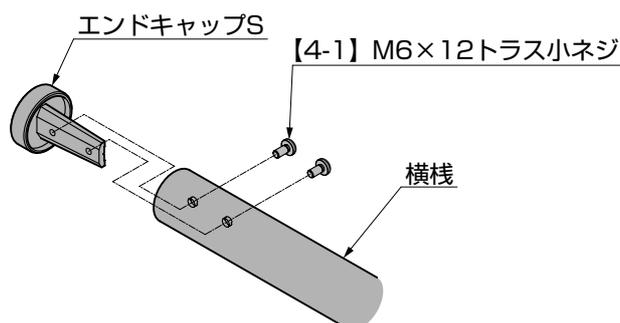


図5-2 横棧納まり断面

- ①連結する片側の横棧にビームスリーブを差し込み【1-1】で取付けてください。
- ②ビームカバーを差し込み、もう一方の横棧を差し込んで【1-1】で固定してください。

5-3 横棧端部



- ①横棧の端部にエンドキャップSを差し込み【4-1】で取付けてください。

5. (つづき)

5-4 コーナー部、傾斜部

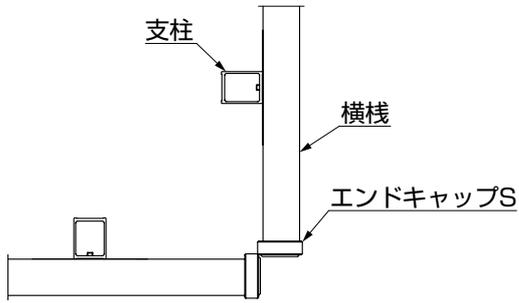


図5-3 コーナー部

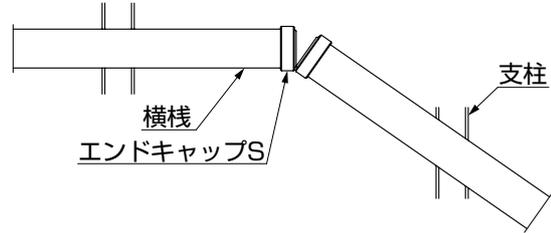


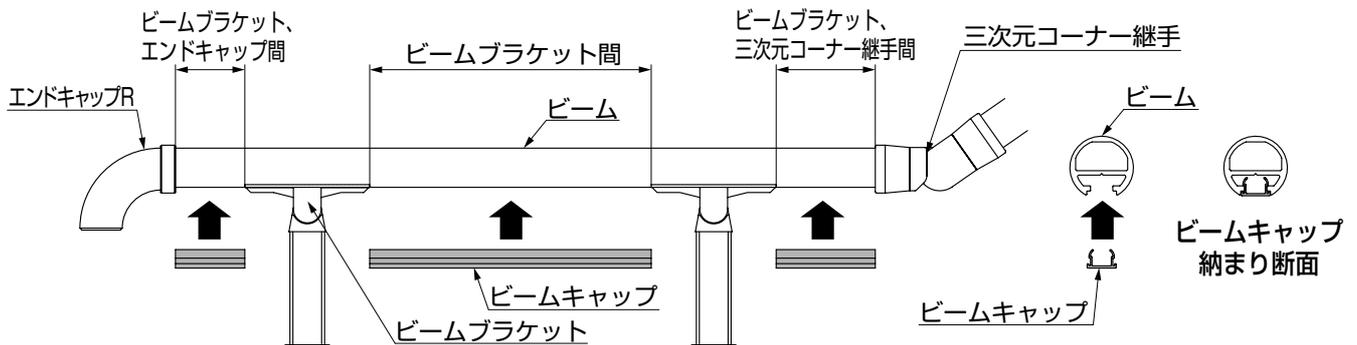
図5-4 傾斜部

ポイント

- コーナー部、傾斜部の横棧端部は、エンドキャップS同士を突き合わせて施工してください。

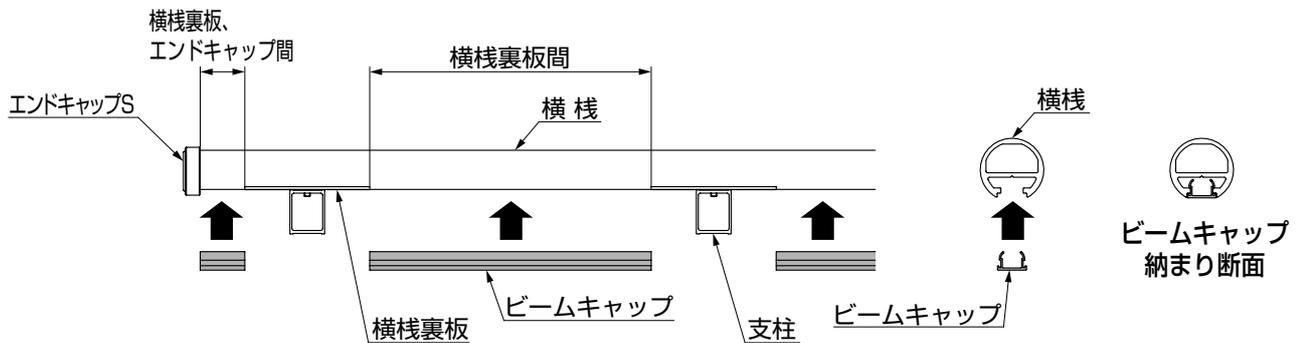
6. ビームキャップの取付け

6-1 ビーム



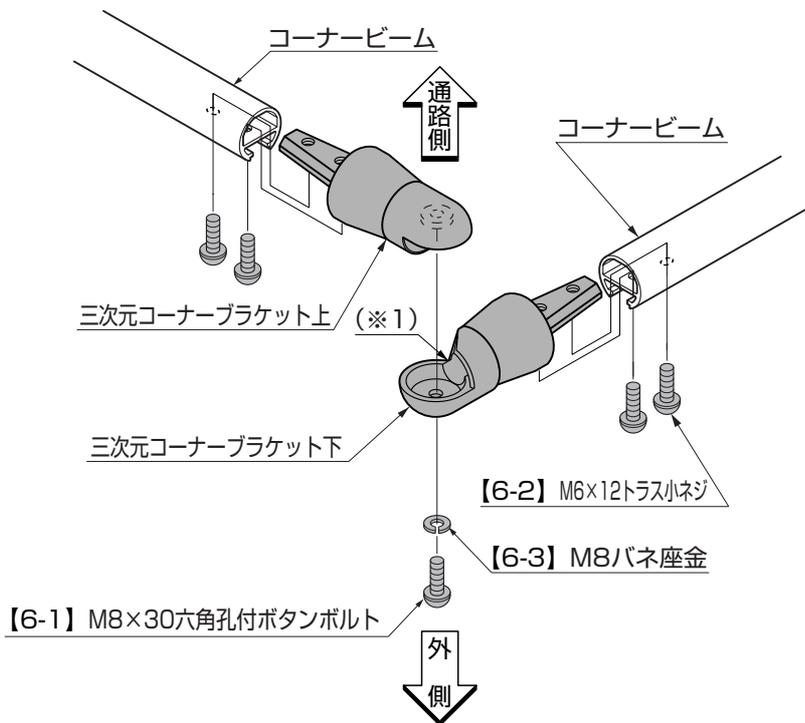
- ①ビームキャップをビームブラケット間、ビームブラケットーエンドキャップ間、ビームブラケットー三次元コーナー継手間の長さに合わせてすき間の無いようにカットし、ビーム溝部にはめ込んでください。

6-2 横棧



- ①ビームキャップを横棧裏板間、横棧裏板ーエンドキャップ間の長さに合わせてすき間の無いようにカットし、横棧溝部にはめ込んでください。

7. 三次元コーナー継手セットの取付け



- ①三次元コーナーブラケット上、三次元コーナーブラケット下をコーナービームに【6-2】で、取付けてください。
- ②三次元コーナーブラケット上、三次元コーナーブラケット下を【6-1】、【6-3】で、組み付けてください。

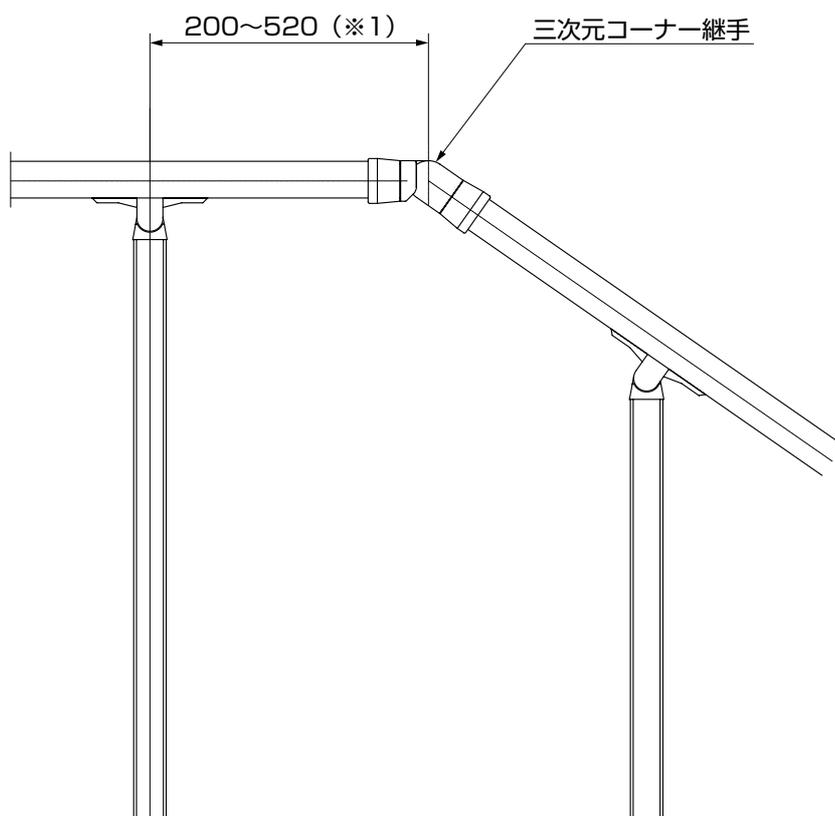
⚠ 注意

- 入隅の場合は、三次元コーナーブラケット下のくぼみ(*1)が通路側を向くように、出隅の場合は、外側を向くように取付けてください。

✎ 補足

- 三次元コーナー継手・三次元コーナー柱ブラケットの対応角度は、平面角度90°~270°、傾斜角度は0°~35°です。

8. コーナービームの取付け範囲



⚠ 注意

- 長さを切詰める場合は、バリなどが出ないように加工してください。バリが出た場合は、ヤスリ・サンドペーパー等で切断部のバリを除去してください。バリを残すとケガをするおそれがあります。

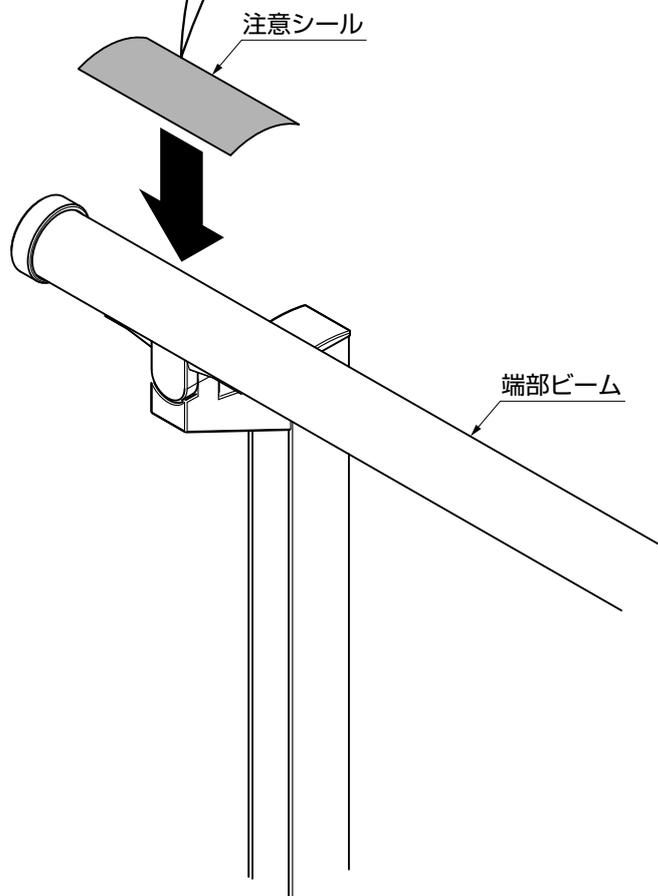
🔑 ポイント

- コーナービームは、柱芯からコーナー曲がり点まで200mm~520mmの範囲内で取付けてください。(*1)P種相当の強度が確保できなくなります。

9.注意シールの貼付け

⚠ 注意

ここに乘らないでください。
ケガをするおそれがあります。



①エンドキャップセットに同梱されている注意シールを図のようにビーム端部、横棧連結部に貼付けてください。

🔑 ポイント

●注意シールは安全に使用していただくために必要です。

取説コード

E227

JZZ612708C
200604A_1001
201607D_1049